

令和7年度 第1回住吉区防災専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和7年7月2日（水）午後6時30分から午後8時30分
- 2 場 所 住吉区役所4階 大会議室
- 3 出席者
(委 員) 生田委員長、井西委員、小林委員、篠原委員、高柳委員、畑委員、松岡委員
(区役所他) 区長、副区長、地域課長、福祉課長、地域課長代理、地域課担当係長
住吉消防署地域担当司令
- 4 報告事項
 - (1) 令和6年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - (2) 防災専門会議に関するアンケート結果について
- 5 議題
 - (1) 令和7年度防災の取り組みについて
 - (2) 令和7年度住吉区総合防災訓練について
 - (3) 災害時の車中泊避難について
- 6 議事要旨
 - 報告
 - (1) 令和6年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - ・ 埼玉県八潮市の下水道管破損に起因する道路陥没事故を受け、本市でも、建設局が緊急点検を行った結果、目視確認等では異常は認められず、下水道管の直上における空洞調査では当区を除く10区で空洞部分が発見され、埋戻しを実施したことを説明した。また、事故の影響で排水抑制が求められたことをうけ、このような様々な災害や事故に対応できるよう、住吉区では簡易トイレや排便セットなどの備蓄をしていること、それらに加え、家庭での物資備蓄の重要性をより一層周知していく旨、説明した。
 - ・ マイタイムラインの作成について、地域における講話や訓練等を通じて、災害時のマイタイムライン作成の重要性と、その作成方法について周知していく旨、説明した。
 - ・ 浸水想定標示板について、4.5m以上の高さには広告等を掲示することはできず、それ以下の場合でも高所設置には費用がかかるため、設置については、費用対効果を含め検討していくこと、また、現在、住吉区で取り組んでいる、希望者への「浸水想定表示プレート」の交付や、災害時避難所等で想定浸水深まで浸水した現在地の写真を掲示していることについて説明した。

(2) 防災専門会議に関するアンケート結果について

- ・ 昨年度委員を対象に実施したアンケートで、防災専門会議では活発な意見交換が行われているとの肯定的な意見が100%だったことや、会議資料を事前に確認する時間が少ないという意見に対し、事前資料の送付時期を早めることで改善したことを説明した。なお、会議時間については、現在の開始時間を希望する委員が多数であったため変更しない旨、委員に小中学校の校長を加えては、という提案を受け、委員数の増加を検討する旨説明した。

■ 議題

(1) 令和7年度防災の取り組みについて

- ・ 令和7年度に実施する防災の取り組みについて、大和川氾濫等の水害に備えた取り組みや、今年度配備予定物資など、全8項目について説明を行った。
 - 全戸配布している啓発資料は、災害ごとの備えや避難行動がわかるような内容にした方が良いとの意見があった。また、配布先には、福祉事業所も加えてほしいとの意見があった。
 - 今年度避難所に配備予定のWi-Fiについて、電池では電力不足であり、カセットボンベ式発電機でも利用時間に制限があることが予想されるため、電動アシスト自転車のバッテリーを流用する等、電力の確保の方法を検討するべきとの意見があった。

(2) 令和7年度住吉区総合防災訓練について

- ・ 令和7年度住吉区総合防災訓練について、実施日時や訓練内容（案）等について説明を行った。
 - 訓練時間や人員が限られているため、地域災害対策本部設置訓練に加えて避難所運営等を実施することは難しいとの意見があった。
 - 福祉避難所の訓練は、総合防災訓練と別の日に実施した方が区役所も参加することができて良いのではないかととの意見があった。

(3) 災害時の車中泊避難について

- ・ 災害時の車中泊避難の考え方や現状を説明し、車中泊スペースを確保しておくことが必要であるか、確保する場合は、スペースの選定方法、必要な物資等について意見を聞いた。
 - 車中泊避難では、エコノミークラス症候群が発症する可能性があり、発症する仕組みや体を動かすことで予防ができることの周知、血液の薬を服用している場合は服薬情報を持参するべきであるとの意見があった。
 - 車中泊だけではなく、テント泊も想定するべきとの意見があった。
 - 大型商業施設の立体駐車場なども候補として考えられるとの意見があった。
 - トイレやごみの集積場所も確保する必要があるとの意見があった。
 - 車中泊避難者がどれくらい発生するか想定することは難しいが、車中泊への備えは必要であるとの意見があった。